関大

発行所
関西大学校友会
〒564
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　金田雅一
電話 06（388）1121代表
振替口座大阪3—55594番

桜の母校に校友・家族1万人

100周年記念　スプリングフェスティバル

皆さんお帰りなさい！

恩師、同窓らと学生時代再び

校友会が母校創立一〇〇周年記念行事の一環として企画した「スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデ～」は四月六日の日曜日、母校千里山キャンパスで盛大に開催された。参加した校友・家族は約一万人。沖縄をはじめ全国各地から集まった。八十歳をすぎた大先輩、幼児を抱いた若い校友のカップル、老夫婦あり、一家三代の家族連れあり。校友は発展した母校の姿をみて驚きの声をあげ、懐しい学生時代にかえって恩師と会い、友と語り、応援団のアトラクションをはじめ、学生のクラブ活動を見学、野点のもてなしを受け、肩を組んで学歌・逍遥歌を合唱し、一日を十二分に楽しんだ。参加者は「ほんとにきてよかった」と心から満足し、甦った青春の思い出と今日の思い出を胸に、「十一月二日の母校創立一〇〇周年記念式典・記念校友総会に大阪城ホールで会いましょう」と誓い合って、千里山を下っていった。

この日、春には珍しい日本晴れ。暖かい日ざしに咲き渋っていた桜も一斉に花を開いた。正門には「祝　母校創立一〇〇周年　関西大学校友会」の横断幕がかけられ、総合図書館前に本部、受付のテントがはられている。本部には樫本校友会長をはじめ、校友会本部役員、大学関係者・職員がつめかけている。各組織の世話人は早朝から、組織名を書いた看板を持って会員が来るのを待っている。

十時の受付開始前から校友が続々とつめかけ、一番乗りは島根から自動車でやってきた井上昌一氏（43学1商）の一家五人。さっそく受付で記念品のキャンパスマップを受け取り、大学日本一の図書館をバックに記念撮影。

津山市在住で前夜は梅田のホテルに泊った毛受勝則氏（4大予、7大政）が杖をついて上ってきた。図書館をあおいで「ウーン！大きいなぁ－。五十四年ぶりにきたが、立派になったもんだ」と驚嘆の口ぶり。

本部前には早くから久井忠雄理事長、大西昭男学長らの姿がみえる。

「先生お久しぶりです」「あなたもお元気で何より」とあいさつが交される。

何年、何十年ぶりかで会った同期生が「やあ！やあ！」と感激の握手をかわし、肩をたたき合い、家族を紹介している。

支部旗を先頭に団体がやってきた。総合図書館前の階段は記念撮影と待ち合せの人でいっぱいになった。

野点接待に長蛇の列

岩崎卯一学長の胸像の建つ大学院前の芝生は立入禁止になっているが、この日は大学のはからいで校友のために開放され、学生の賛助による当日のハイライト企画の会場となった。

特設舞台では邦楽部の琴演奏、落語大学の発表が交互に催され、周りは人垣でいっぱい。熱心に聞き入る校友からは一曲終るごとに大きな拍手が湧いていた。

隣りでは茶道部が野点接待。緋もうせんを敷いた床几に校友や家族が座ると、すかさずオウスとお菓子が運ばれてくる。「どうぞ、ごゆっくり…」。接待を受けた校友・家族は約千人。一時は行列ができた程で、なかには待ちきれずに立ち去る人もあった。また、経商学舎二号館前では、応援団吹奏楽部とグリークラブが発表会。こちらも〝先輩のために〟との心使いが伝わってくる〝奪斗ぶりだった。

第三、第四グラウンドでは、サッカー部が大阪電気通信大と「関西学生春季リーグ戦」、アメリカンフットボール部が大阪産業大と練習試合。ここでも先輩の熱い声援に奮起した現役がハッスルプレーを見せ、いずれも4－0、28－12で勝ち、声をからしたOBも満足顔だった。

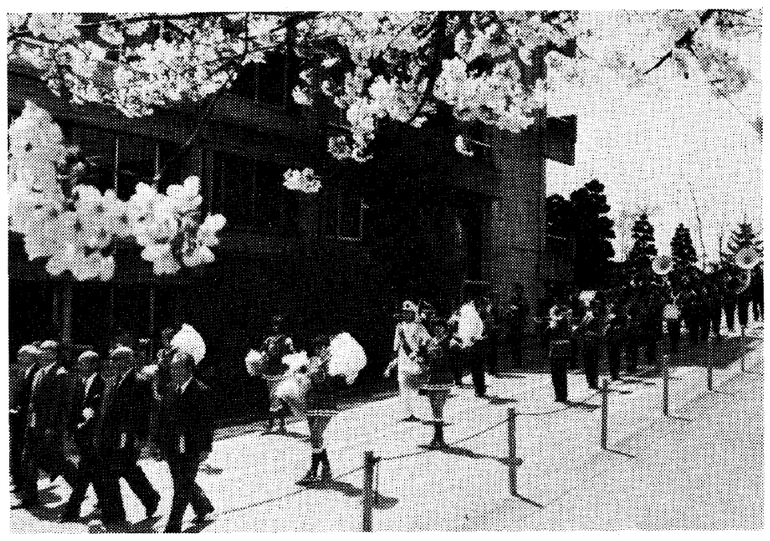
体育館で行われたハンドボール部OB交流戦では、学生時代の華麗な腕前を家族の前で披露。ヤンヤの喝采を浴び、鼻を高くしたOBもいた。

総会も学生気分で

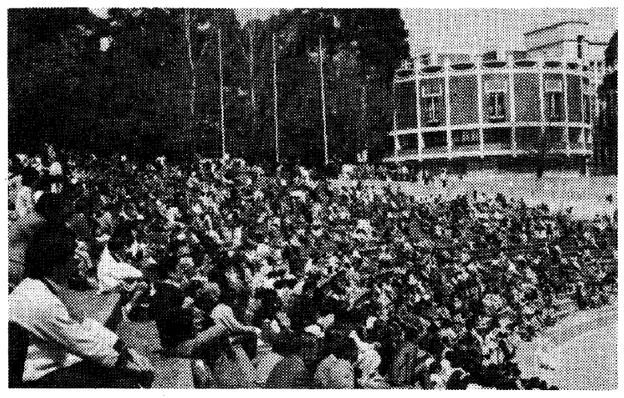
教室では支部、OB会などの総会、懇談会が開かれ学生気分にかえって思い出の話がはずむ。花の下で車座になって飲みかわしているゼミOB会、弁当をひろげている家族連れ、しみじみと母校を楽しんでいる様子がうかがえる。

フェスティバルの企画推進を担当した徳山喜昭校友会総務部長の話＝みなさんのご協力を得て一〇〇周年に相応しい盛大な催しになったことを大変喜んでいます。創立一〇〇周年を迎え発展する母校の真の姿を校友とその家族の方々に是非見ていただきたいと考え、昨年の校友総会以後、多くの方々と話をし、いろいろと企画を練ってきました。おかげ様で、久井理事長、大西学長はじめ母校の全面的なご協力と、樫本会長はじめ校友会役員のご理解、事務局一丸となっての努力により推進できました。

一〇〇周年を全校友の手でとの考えから、記念事業の一環として二月には、機関紙〝関大〟を住所判明の十三万全校友に配布しましたが、紙面のトップ記事として本企画を紹介して「桜の母校で会いましょう」と呼びかけました。何しろ初めての試みですので、果してどれぐらいの参加者があるのか、受入体制は、と心配の種は尽きません。信じたのは校友の母校に対する情熱でした。さすが関大の校友です。今、改めて校友の母校愛と一〇〇年の伝統の重みをしみじみと感じ、十一月二日、大阪城ホールでの記念式典・記念校友総会の成功を確信しています。



満開の桜の下、応援団のパレードが関大会館をスタート。先頭には（右から）稲野副理事長、久井理事長、樫本校友会長、大西学長、大橋教学部長が並んで行進



第1グラウンドのスタンドをびっしり埋めた校友・家族

会長、学長らがパレード

正午、関西大学会館前から応援団の学内パレードが始まった。紫紺の大応援団旗を先頭に、吹奏楽部の列の前には樫本校友会長、久井理事長、大西学長、稲野治兵衛副理事長、大橋昭一教学部長の五人が横一列に並んで行進する。学内を一巡したパレードが第一グラウンドに入ると、スタンドを埋めつくした校友・家族から一斉に拍手と歓声が湧く。グラウンドの周りには「一〇〇周年記念スプリングフェスティバル」の大きな看板が掲げられている。

十二時半からセレモニーが始まった。応援団第六十四代団長川上晃君のリードで、全員が学歌を斉唱。特設舞台で樫本会長が、校創立一〇〇周年行事のはじまりです。施設でも教育研究でも二十一世紀をめざして発展している母校を十分にご覧になり、思い出を新たにして一日を過してもらいたい」とあいさつ。

続いて久井理事長は「みなさんお元気で、よくお帰りいただきました。母校は見た目は変っていますが、この土、この木、この草、校友諸氏が学ばれた時のものです。この学校は校友の学校です」と、一段と気迫のこもったあいさつ。

大西学長は「今朝ほどから思わぬ方々とお会いしてお互い校友であり得た喜びをしみじみと味わっています」と温かい歓迎の言葉を述べた。

このあとアトラクションに移り、昔懐しい〝鯉の滝登り〟などをおりまぜた応援団乱舞、はつらつとした女子のバトン演技、吹奏楽部ドリルなどが次々と披露され盛んな拍手を浴びた。最後に久井理事長、樫本校友会長はじめスタンドの全員が肩を組んで逍遥歌を大合唱。第一グラウンドは青春一色に燃えあがった。

なお、応援団は再び総合図書館前で演技を披露、去り難い思いの人々を満足させてくれた。

セレモニーであいさつする樫本校友会長

総合図書館に3千人

この日、総合図書館を見学したのは約三千人。「立派ですね。こんなところで勉強できる学生は幸せだ」といった声が強く、一階展示室で催されている「古今の百科辞典」などが注目を集めた。

情報処理センターは約五百人。五十台の端末機がズラリ並んだ部屋では、その圧巻に驚いた様子。新装なった考古学等資料室も約五百人。重要文化財など貴重な資料と、整った展示設備に「常時見学できるよう一般公開してほしい」という要望が多かった。

生協食堂は予想以上の利用者で超満員。準備された数多くのメニューもすぐに売り切れ。せっかくの校友に何も無いでは申し訳ないと、ご飯を炊き増して汗だくの対応をした。

また、校友の一〇〇周年募金に対する関心は深く、本部テントに設けられた募金・受付相談窓口で三十四万二千円の募金申し込みがあり、趣意書をもらいに来る人が続いた。

支部対抗親睦ゴルフ

一〇〇周年記念大会

5月12日、オレンジシガで

とき　五月十二日（月）

ところ　オレンジシガ・カントリークラブ（滋賀県甲賀郡信楽町宮町字桧谷）

競技方法　18ホールストロークプレイ　新ペリア方式（ローカル・ルール適用）

表彰　団体戦…上位五位まで入賞（各支部上位四人のネット合計により決定）　個人戦…上位十五位まで入賞　飛賞あり。

表彰式　競技終了後、クラブ食堂で成績発表ならびに懇親会。

申込方法　一支部四人以上　先着二百人で締切　四月二十五日必着、校友会事務局へ。

参加費　六千円（プレイフィーは各自負担＝ビジター一万二千四百円）

参加費のうち千円は一〇〇周年募金に充当。

四人に満たない支部は個人参加とする。

参加者全員に関西大学ネーム入りの特製シャーボーを記念品として贈呈。

母校創立一〇〇周年記念協賛行事として、校友会が昨年来実施している「支部対抗親睦ゴルフコンペ」を、本年は「一〇〇周年記念大会」（大会実行委員長、上原洋允事業部長）としてつぎのように開催することになった。一層の支部相互の交流と会員相互の親睦を図るため、多数の参加が望まれる。

春の雲

春四月、季節の幕開けである陽光とともに北から南から〝若人〟が集まった千里山。山の桜も装いを新たに彼らを迎えた。創立一〇〇周年の記念すべき年にキャンパスを訪れた〝若人〟たちは、いかなる思いを巡らしたであろうか▼桜を見て幼児のころの記憶がよみがえった。女先生に雑誌をいただいた。小学入学のはるけき昔である。その一ページに「ハルノヒナガニ、ソウサンガイネムリシタイトオモッタガ、サクラノハナガ、チラチラトウルサクチッテ、ネムラレヌ」とあった。桜の花の散りざまの美しさと、南の国からやってきた動物を、たくみに組み合わせたそのページが、いまも鮮やかに脳裡にきざまれている▼三十数年前、門をたたいた時代から学舎は一変した。全国一の図書館も偉容を誇っている。各学部の建物も圧倒する豪華さである。昔日、十円のコッペパンをかじり、水道の水とともに腹を満たした若い日の千里山が、ここだったのかと見違えるほどの変貌である▼図書館の充実はとりわけうれしい。昭和二十六年、大阪駅前のA書店で佐々木惣一著「日本国憲法論」をみて、購入したい思いときょう食べるパンを天秤にかけ、そっと書棚に返した日があった。その本が、いまの図書館には七冊もある。くいいるように読んだ若い日がなつかしい▼農耕社会から工業社会へ、そして情報化社会へと変貌したいま、コンピュータの花ざかりである。ハード、ソフトとやかましい。どんな区別かとその道の人にたずねたら「ハードはピアノ、ソフトは楽譜です」と明確な答をいただいた。▼ハードは目でみるもの、ソフトは心の中から訴えるものだという。豪華な学舎は完成した。ハードは充実した。ソフトの楽譜をいかにつくり上げるか、後輩への切なる思いの四月である。

国際化・情報化に対応

個性的教育の充実へ

61年度関西大学予算決まる

昭和六十一年度学校法人関西大学の予算が、三月三十一日開かれた評議員会で承認議決された。予算編成の基本方針、事業の概要はつぎのとおり。

一、予算編成の基本方針

高等教育の質的・量的充実は今後ますます重要な政策課題となってきた。国際化、技術革新・情報化の進展、社会成熟化の波が押し寄せる複雑かつ流動的な時代において、高等教育への教育需要は多様化し、また高等教育機関の多様化も迫られている。他方、六十一年度から十八歳人口の急増六十七年度からの急減を迎えるなか、私立大学の存在を根底から揺さぶる経常費助成の動向はゆるがせにできないものがある。教育改革の高まりの中にあって、環境変化に対応する課題に取り組みつつ、明日の関西大学発展への基礎を固めることは、関大人共通の責務と言えよう。

このようなときにおいて、関西大学は弾力性を持った個性的教育研究体制によって独自性を発揮し、教育研究の学際化・国際化・情報化などに対応してその質的向上をはかることが望まれる。

関西大学第一高等学校、第一中学校にあっては、公立学校の補完物ではなく、同種の学校群のなか、親や生徒の選択の対象となり得る独自性を一層明白にし、併設校としての内外の期待と要望に応えるよう努力すると共に、その財政健全化策が採られねばならない。

関西大学幼稚園にあっては、地域のニーズを汲み取り、特色ある保育に努めねばならない。

六十一年度の予算編成の基本は、六十年度からの学費改定に当たって策定した定化策を推進することに置く。教育研究条件の整備充実の事項は優先度を勘案し、かつ、その構想の熟度に応じた実施案を策定するに当たっては関係機関の一層の検討と適切な対処を求める。

創立一〇〇周年記念事業関係については、募金活動の一層の強化、記念事業の推進に総力をあげるものとする。

二、事業の概要

1、教育研究活動の重点項目

（大学）

(1)国際交流の促進と充実
ア　外国大学との国際交流協定の締結（アメリカ合衆国ジョージ・ワシントン大学に続いてベルギー王国カトリック・ルーバン大学との締結）　一四、〇四九千円
イ　外国大学からの交換研究者、招聘研究者の受入　二九、三二九千円
ウ　受入れ留学生援助　一、九二〇千円
エ　学術交流のための調査研究、情報収集他　一四、六九七千円

(2)情報化社会に即応する教育研究活動の充実
ア　情報処理センター機能充実　二八二、八一六千円
イ　情報処理教育　一一九、七八〇千円
ウ　電算システムによる教育研究関係事務能率の向上　二三、五一八千円

(3)「開かれた大学」構想の諸施策
ア　公開講座の充実
①東西学術研究所泊園記念講座、経済・政治研究所産業セミナー・公開講座、工業技術研究所公開講座他　五、三一八千円
②吹田市民教養講座他　九、七七七千円
③近郊、地方都市講演会　五、八〇五千円
イ　客員教授制度の見直し

(4)学部、大学院、研究所等における教育研究体制の整備充実
ア　学年暦の変更
イ　教育課程の改善充実（各学部）
ウ　学生の外国大学への留学を認め、修得した単位の互換制度を開く
エ　一般教育科目「情報処理論」の開講（文科系学部）
オ　推薦入学の実施（商学部）
カ　法学研究所新設についての検討（高等学校・中学校）

(1)学力向上のための教育活動の充実

(2)教育効果を高めるためコンピュータを導入（幼稚園）

(1)独自性を発揮し、保育の質を維持する

(2)地域のニーズに応え、幼児学級（ひよこ学級）を継続する（一クラス増、三クラスとする）

2、図書館活動の重点項目

（大学）

(1)研究図書館・学習図書館の両機能に対応させ、資料収集の効率化を図るため図書費予算の再編成　五〇九、二〇〇千円

(2)閲覧・貸出管理の電算化（天六分館）　一〇、九六〇千円（再掲）

(3)図書受入、目録作成業務の機械化システムの開発と、大学図書館間ネットワークの形成

3、学生福利厚生活動の重点項目

（大学）

(1)関西大学奨学貸付金　一五四、四二五千円

(2)入学時貸与奨学金　三一、三五〇千円

(3)家計急変者に対する応急貸与奨学金　一、六一〇千円

(4)学生教育研究災害傷害保険加入　二二、七一八千円

(5)奨学金管理システムの電算化（継続）　三、〇九八千円（再掲）

(6)構築物6件他　三二、二七〇千円（以下略）

（資金収支計算書は2面に掲載）

4、創立一〇〇周年記念事業の重点項目

(1)募金活動の強化　三一、五九八千円

(2)記念事業計画の実施
一、〇四四、四九〇千円
ア　研究・教育振興基金の設定
①国際交流基金　八〇〇、〇〇〇千円
②学術研究助成基金　四〇〇、〇〇〇千円
③教育助成基金　二〇〇、〇〇〇千円
イ　日・印共同学術調査　三〇、五〇〇千円
ウ　記念刊行物の出版、記念行事・記念式典の挙行　二一三、九九〇千円
①関西大学一〇〇年史の出版　二五、三〇〇千円
②学術論文集の出版　三三、一〇〇千円
③記念写真集の出版　一九、五〇〇千円
④記念映画の制作　二二、〇五〇千円
⑤学術講演会の開催　二〇、〇〇〇千円
⑥学生行事の開催　二一、一五〇千円
⑦記念式典の挙行　六二、三六〇千円
⑧学部（法・商学部）講演会等の開催　四、二四〇千円
⑨「大阪関係自筆本一〇〇選」の展観、講演会の開催　二九〇千円
⑩「内藤文庫善本書概要」の出版　六、〇〇〇千円

5、教育研究施設設備整備充実の重点項目

(1)高槻校地取得（継続）　三、八一七、〇〇〇千円

(2)第2部学生福利厚生施設　二〇、〇〇〇千円

(3)関西大学飛鳥校外教室増築　四〇五、〇〇〇千円

(4)彦根荘改造　三九、五〇〇千円

(5)学園の環境整備（空調）（Ⅱ期）　三八九、一八〇千円

(6)構築物6件他　三二、二七〇千円（以下略）

（資金収支計算書は2面に掲載）

望遠鏡から顕微鏡まで
光学館
心斎橋店2階
メガネ大学堂
●京橋店●心斎橋店
●阪神百貨店●虹のまち店

創立100周年
シンボルマーク

68年の歴史に支えられた
ハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama
KATANO
1918
株式会社カタノ
〒541 大阪市東区北浜3丁目39番地
北浜カタノビル1F
☎（06）231－0565～7
大阪駅前店（第一生命ビルB1）☎（06）341－0792
近鉄百貨店（上本町店・枚方店・奈良店）

"ギフト最適"
明るさ、新しさ、豊かさを誇る
バース・カバン・ハンドバッグ専門卸商社
株式会社廣島屋
代表取締役社長　藏田廣造（昭25学1経）
本社　〒541　大阪市東区博労町1-26　TEL 06－（261）－2431
営業所　大阪・東京

工場・住宅用地・建売住宅
◉極稀少物件　びわ湖近江舞子浜付　モーターボート乗付け可
328㎡ － 3,850万
◉投資向特選物件
260万 ～ 各種
平和開発商事株式会社
代表取締役　東　維明（昭26学1経卒）
〒520 滋賀県大津市高砂町39番2号
TEL. 0775－22－9733(代)
FAX. 0775－22－9736

人材あっせん
決断するは今！ 転職・就職の好機。
全国6,600社からなる優良中堅企業の組織
タナベイーグルクラブを中心に、全国主要企業にご紹介
昭和43年以来20年近い豊富な紹介経験
●各職種求人多数あり
事務系　貿易・営業・総務・労務・経理・コンピュータなど
技術系　電子・電気・機械・土木・設計・SEなど
●ご登録・ご相談の秘密は絶対厳守します
●費用は一切不要です
●特に40歳までの就職有利です
★まずお電話ください。（歴送・ご来社も可）詳細お打ち合わせします（平日18:30まで土曜日15:00まで日・祝休み）
求人も常時受け付けております。

★急募求人の一例

業種	規模	職種又は経験	年齢	給与	勤務地
食品化粧品輸入卸	中堅	訪販企画、ディラー管理者	45まで	800万	大阪
食品化粧品輸入卸	中堅	人事、労務、実務担当者	40まで	700万	大阪
超精密機器製・販	中堅	総務副長（工場総務経験者）	55まで	500万	東大阪
高級婦人服製造・卸	小堅実	営業部長（婦人服流通エキスパート）	40まで	600万	神戸
家庭住宅用品卸	小堅実	量販店バイヤー経験者	45まで	500万	京都伏見
化粧品製造販売	中堅	マーケティングプランナー（化学経験者）	50まで	700万	大阪
特殊鋼商社	中堅	金型工場生産技術管理	50まで	550万	姫路
地上測量・土木工事設計	小堅実	建設（道路）技術士	不問	希望年収	五条
高級システムキッチンメーカー	中堅	箱物製作経験者、要英会話	50まで	600万	兵庫氷上
半導体輸入販売	外資	大阪支社長（理工系）	38まで	900万	大阪

タナベ エリート・バンク
労働大臣許可 経営管理者・科学技術者紹介所No.27・コサ・4
〒564 大阪・吹田市江の木町17-10（タナベ経営ビル）
☎06(338)3451 担当（小菅）

営業科目
陶磁器部・機械器具部
工事部（耐酸工事・タイル工事・サッシ工事・外）
公害防止機器並に装置・設備工事の斡旋及び其他関連事業
貸ビル・貸マンション
ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区西天満六—八—二　ヤノシゲビル
電話（364）一〇五一番（代表）

〝われらが日々〟をたずねて

花の母校を歩いてみたら

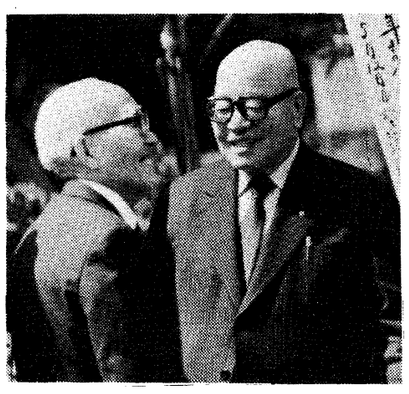
衣笠　周司（34学1法）

ギャルにたじろぐ

まさか、まさか。懐しのわがクラブの部室が消えてなくなってるやなんて。そのかわりに、見たこともない、目新しい立派な建物が、あちこちに偉容を誇っており、こちらもまさか、まさかと驚くばかり。

スプリングフェスティバルの朝、母校に来てみたら、まだ十時前というのに受付には、もう人だかり。気の早い人もようけいてはる、と横目で見つつ構内へ。

思い出の部室があるはずの尚志館へ行ってみると、女子学生がにこやかに「いらっしゃいませ」。「こんなようけ女の子がいるなんて信じられへん」と思わずたじろぐ。そのギャルに案内されてお二階へ。「あれ、日本間がない。境のカベもない」。当然、部室の跡形もない。そんなら、むかし部室で語り合ったはずの彼女も、まぼろしだったのだろうか。



「やあ！お元気で…」同期生同士のうれしい再会

フォーカスされて

「朝早く、三重県の大王崎から出て来ました」と午前中に会った先輩。いまは司法書士で息子さんも関大在学中とか。「遠くからおミエで…」感心したが、もっと遠くからの校友もおられたことだろう。

あちこちで顔見知りと会うたび「変わったな」「いや変わってえへん」と互いに化かし合い。心だけはすっかり学生気分になって歩き出したら現役学生のテレビカメラが追いすがる。記録班の学生にもフォーカスされる。さすが豊かな情報化時代と感心。「関西大学新聞」も昔は販売していたのに、今はタダとか。されど、われらが日々はハングリーだったのだが……。

過激な？熟年美女

「そうよ、今の関大生はカッコいいわぁ。わたしらのころの関大生いうたら、むさくるしゅうて。そやからダンナには関大生を選ばなかったのよ」――と、こちらは熟年美女。同級生の〝おじさん〟相手にいささか過激な発言が続く。

一方、熟年紳士の方は現役の女子学生にルンルン。「このカメラで、おじさんを写してね」とネコなで声。操作を教えるふりして名前まで尋ねちゃって。

若い家族づれも、いっぱい。坊やの手をひいている一家の夢は「この子も、いずれ関大に」の風情。

一方、せっかく家族づれで来ながら、オヤジだけが同窓会の会場へ。ところが話がはずんで抜けられず、放ったらかされた〝母子家庭〟の方は正門の前で待ちぼうけ。帰ってから家庭争議にならねばいいが。

まるでメルヘン

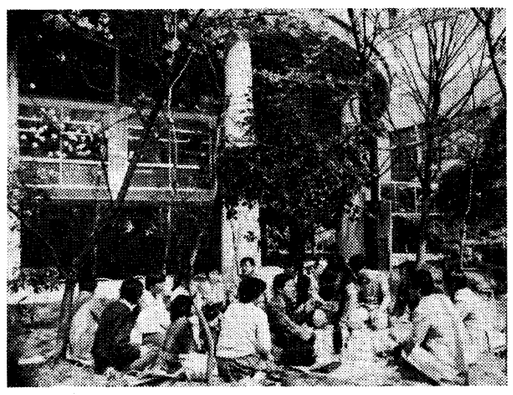
大学院前の芝生では、桂三枝の後輩がハデハデしい声をはりあげ、落語のつもり。それに尻を向け岩崎卯一先生の胸像に見入っていた校友が「なんや、似てえへんな」と酷評。胸像がメガネをかけていないせいか見る方がメガネをかけ忘れたせいか。

第二学舎前では赤いパレードコートの吹奏楽部の演奏。バンカラ時代の卒業生には、まるでメルヘンの世界。

午後三時も過ぎ、生協食堂では〝売り切れ〟というのに、まだまだ行列が続く。「また会おうで」――なごりを惜しむ声は、千里山が暮れなずむころまで続いていた。

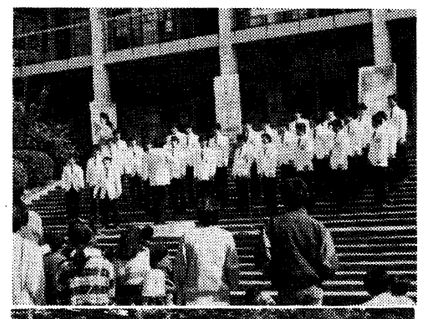
（元関西大学新聞会員）

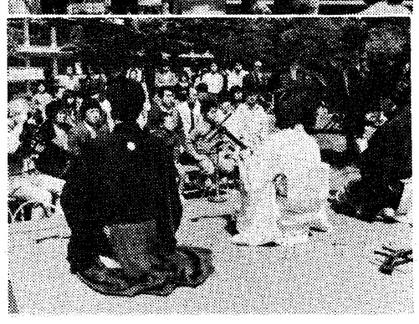
キャンパスは家族連れでにぎわった



桜の下で、車座になってゼミOB会の楽しい食事

応援団の見事な演技に拍手がわいた





㊐グリークラブのきれいなハーモニーが流れる㊐邦楽の調べに聞き入る人たち

学生のお点前で、お茶とお菓子の接待を受ける

熱演する落語大学の女子学生

関西大学資金収支計算書

昭和61年4月1日から昭和62年3月31日まで　（単位：千円）

収入の部 科目	61年度予算	60年度予算	増減
1 学生生徒等納付金収入	13,318,257	12,972,041	346,216
2 手数料収入	1,787,906	1,717,080	70,826
3 寄付金収入	1,267,150	675,000	592,150
4 補助金収入	2,641,663	2,748,803	△ 107,140
5 資産運用収入	1,443,400	1,465,050	△ 21,650
6 資産売却収入	1,220,000	1,222,700	△ 2,700
7 事業収入	114,716	106,946	7,770
8 雑収入	388,529	177,874	210,655
9 借入金等収入	2,950,000	1,816,300	1,133,700
10 前受金収入	3,543,585	3,538,335	5,250
11 その他の収入	2,984,196	1,928,927	1,055,269
12 資金収入調整勘定	△ 4,162,941	△ 3,837,794	△ 325,147
13 前年度繰越支払資金	5,082,802	5,945,026	△ 862,224
収入の部合計	32,579,263	30,476,288	2,102,975

支出の部 科目	61年度予算	60年度予算	増減
1 人件費支出	12,463,913	11,414,393	1,049,520
2 教育研究経費支出	3,828,884	3,839,771	△ 10,887
3 管理経費支出	982,209	906,632	75,577
4 借入金等利息支出	665,288	590,768	74,520
5 借入金等返済支出	1,595,850	1,217,870	377,980
6 施設関係支出	4,313,770	2,290,536	2,023,234
7 設備関係支出	1,401,904	1,866,719	△ 464,815
8 資産運用支出	3,290,185	2,707,202	582,983
9 その他の支出	1,816,885	1,418,103	398,782
10 予備費	100,000	100,000	0
11 資金支出調整勘定	△ 1,965,000	△ 958,508	△ 1,006,492
12 次年度繰越支払資金	4,085,375	5,082,802	△ 997,427
支出の部合計	32,579,263	30,476,288	2,102,975

総会・懇親会の報告

募金千7百万円突破

◆八尾支部総会は、スプリングフェスティバルに参加して懐しき法文学舎一〇九教室で開催、近隣の村尾東大阪支部長と石幸柏原支部長も出席して論議に花が咲いた。

一、事業報告

㈠河内八支部による『河内音頭』の出演。㈡校友会長杯（河内地区）ソフトボール大会とゴルフコンペに優勝。㈢支部結成二十五周年記念号の『八尾支部名簿』第六版（校友数一、五三五人）を発刊。㈣高安城史跡を散策。㈤寄付金総額は一千七百四十八万三千二百円に及んだ。二、会計報告と会計監査報告

三、事業計画

㈠校友会長杯（河内地区）ソフトボール大会とゴルフコンペを開催。

四、昭和六十二年度より年会費を三千円に値上げする。

以上一、二、三、四について承認された。

総会後、母校を見学した支部校友の感想は「新しい殿堂の陰にかくれて残る昔の面影が懐かしい」。（水野記）

続々と正門を入る校友たち

恩師招き32人出席

◆関大一六会（昭和十六年三月卒同窓会）総会は、校友会が千里山キャンパスで催したスプリングフェスティバルと軌を一にして四月六日午後四時から千里山駅前、割烹「音羽館」で開催した。予科、専門部時代の恩師和田豊二本学名誉教授を来賓に招き、会員三十二人が出席。

田中一郎氏の司会で、稲野治兵衛世話人代表（法人副理事長）から大学の近況について報告、特別会員（予科の同期生）原田憲衆院議員の乾杯で開会した。

一同は学生時代の思い出や、久しぶりに訪れた千里山キャンパスの変ぼうぶりに話題の花を咲かせた。最後に十一月二日開かれる一〇〇周年記念式典への出席を誓い合って散会した。

夜は市内で懇親会

◆甲戌クラブ（9専1法卒）の六十年度総会は、昨秋の予定をのばし、「スプリングフェスティバル」に合わせて四月六日第1部「母校見学」第2部「懇親会」として開催した。

参会者十二人、ほとんどが五十年をこえる永いご無沙汰の母校で、大学通りを上るときから語るは昔の思い出ばかり。キャンパス内を一巡して、かつては想像だにしなかった母校の変ぼう、発展に目を見張る思いであった。

夕刻から大阪市内のなにわ荘で懇親会を開き、会員の近況、一〇〇周年記念募金等の報告があって懇談に入った。席上記念募金については早くも募金協力の意味で金一封を出し、クラブ名で寄付することにした。また秋ごろに六十一年度の総会を開催することをきめ、再会を約して散会した。（藤田令允記）

家族づれで集う

◆尚志会では、今年は千里山学舎で懇親会を開くことに決めた。在阪十五人の卒業生のうち、北原、山田、加来、織田、上西、山口、春元の同期生は、家族や近隣者も連れて、四月六日「千里山へ寄っといデー」に集まった。

私は二十年振りで阪急関大前から大学正門を通ったが、飲食店、書店その他軒を並べ、当日は特別だろうが、人車の通行にゴッタ返しの繁盛振りであった。十一時受付に集合し、学舎の一室をお借りしての昼食をとり、先ず一年振りの健康を祝って乾杯した。そして大学構内の変わり方、まずは百五十万冊の書籍を蔵する総合図書館の偉容をめで、更に一〇〇周年祝典の盛大なることを祈りながら、桜も満開近き学園内を散策して、一同夕刻散会した。（山田清太郎記）

「立派だなー」と図書館内の開架書庫を見学する

考古学等資料室にも見学者が集まった

学園の生気身に滲む

◆昭六会有志も「花の命は短かくて　明日ありと思ふ心の徒（あだ）桜」――絶好の機会に誘われてこのイベントに参加した。集い来る老若男女の花衣にそぞろ浮き立つ春の一日であった。

建築の粋とメカニズムを駆使した広大なキャンパスを隈なく見学する事は無理であり、要所要所を瞥見しながら大正十四年予科入学当時を偲び、今昔の感に打たれた。一陽来復と共に一入翠滴る樹木の息吹きに、学園の生気と栄光が身に滲みた。一〇〇周年の盛儀を見ずして早早に他界された級友のご冥福を祈り、闘病生活の方々の一層の御自愛を念じます。

久井理事長が挨拶で、再会を期待された言葉にスタンドより万雷の拍手が送られた。共に風雪八十年、何時しか余命果つるともタートルマラソンの如く、自己のベストを尽くせば男子の本懐である。

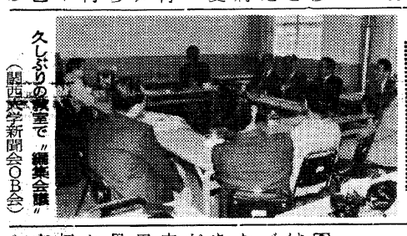
出席者久井、今井、池田、浦地、上野、岡部、中村武、中島力、羽立、羽渕（順序不同敬称略）（羽渕博記）

一〇四教室で懇談

◆桃源学士会（15大卒）の会員十三人が、四月六日、スプリングフェスティバルに参加した。懇親会場は第一学舎一〇四教室で、午前十一時半から関大生協の記念弁当で昼食をとりながら懇親会が開かれた。

菅原世話人の発声で、物故者に一分間の黙祷を捧げ、橋本世話人から自己紹介、小川（喜）世話人から欠席者の近況報告があり、小川（立）世話人から一〇〇周年募金について多少なりとも協力しなければならないが、と発言があり、出席の十三人満場異議なく賛成、一人五千円に決定した。欠席の会員約二十人には小川（喜）世話人から文書で四月末日までに送金をお願いし、五月上旬に桃源学士会として一括して校友会事務局へ送金することになった。

懇親会は午後二時半に終わり一応散会した。終了後、総合図書館や学内施設を見学の者も多く、有意義な一日であった。（小川＝喜＝記）



久しぶりの教室で〝編集会議〟（関西大学新聞会OB会）

募金状況など報告

◆旭支部は、スプリングフェスティバルの日に母校、法文二〇二教室で、総会を行い、一〇〇周年募金の状況等を打ち合わせ、また今秋、旭区内で総会を開くことを検討した。募金に地元を回った結果、手ごたえがあったので、さらに口数を伸ばしたい、一〇〇周年記念総会に動員をかける対策などを話し合った。（東浦記）

総合図書館に驚嘆

◆飛雲会（16専2商卒）は、スプリングフェスティバルを機に臨時総会を開いた。参加者は六人で、教室を借りて往時を思い出しながら話がはずんだ。話題は広く、円高、古都税、男女雇用均等法、株価や金儲け、果ては現代の若者の気風と、年は取っても意欲一杯、話はつきなかった。食事をしながら、また桜の下や茶道部のお点前を頂きながら、久し振りの会合に楽しい時を過ごした。

最後に関大が誇る図書館を見学し、その規模の雄大さ、内容の充実、完璧な近代設備に驚嘆し、まさに今昔の感に打たれる思いだった。二時過ぎ校門前で応援団の学歌を聞きながら健康と再会を約し、懐しい母校を後にした。（浮穴国男記）

記念実行委を設置

◆関西大学博修士会（佐々木砂夫会長）は、四月六日母校、大学院の教室で理事会を開いた。過去三回の常任理事会で、一〇〇周年に対する協力態勢の具体案を検討してきたが、それに基づいて母校一〇〇周年記念実行委員会（藤井拓蔵委員長、有福健、泉本正隆顧問）を設けることを決定した。同会ではすでに一〇〇万円を寄贈しているが、さらに募金全員参加の方針を打出して活動を強化、四千人の全会員に呼びかける。なお次回の総会は七月十三日に開く。

鈴木会長らを再選

◆関西大学学女子秀麗会の総会はフェスティバル当日、午前十一時半から第二学舎で、久井理事長、大西学長、四十八人（ほか同伴家族十七人）が出席して開かれた。

来賓のあいさつのあと、会務報告、役員改選があり鈴木清子会長、富田治子、西村寿美子、片山久江の各副会長、田中昌子、乙咩淑子、萩原貞栄の各会計監査が再選された。

終わって総合図書館前で記念撮影。なごやかに豪華な弁当の昼食をすませ、それぞれ学内見学に向かった。

16年ぶりに集う

◆商学部・中辻ゼミOB会は、フェスティバル当日、一〇〇周年募金に有志一同として六万二千円を寄贈した。

◆参加したその他の組織

▽雄叫会OB会▽証志会OB会▽安喜ゼミOB会▽ミネルヴァ会▽五十経会卒業半世紀記念総会▽相撲部OB会▽西原ゼミ32学1OB会▽天六同友会▽伊丹支部懇親会▽尚志会（4大）▽有坂ゼミ36学1OB会▽守交会懇親会▽工学部機械設計研究室同窓会▽2部国文科同窓会▽昭友会（昭29学1）▽和泉支部役員総会▽ESS・OB会▽西成支部▽春秋会▽ハンドボール部OB会総会▽関西大学新聞会OB会▽箕面支部役員会▽経済研究部OB会▽豊能関大会▽中国文化研究会OB会

フェスティバルに参加して

花の下慰霊碑前にぬかづきぬ学び舎にそぞろ歩きの桜狩り

観桜会門をくぐれば友つどふ千陵に千本桜咲きほこり

お点前の女子学生に花きそふ　椎屋晋太郎（5大予、8大法、校友会八尾支部顧問）

岸田氏を激励の宴

大阪府出納長就任を祝う

岸田　勲氏（27学1経）の大阪府出納長就任祝賀会は、三月二十四日の夕刻から大阪府立労働センター十階宴会場で校友有志が集い、昇進に祝意を表するとともに、今後ますますの健闘を祈って激励の宴を開いた。

今回の呼びかけは同氏の関係した関大校友有志に限られたが、それでも百五十人の盛況だった。

◆大阪府警の捜査一課長に宮口正行氏

大阪府警の人事異動が三月二十四日付で発令され、グリコ・森永事件担当の捜査一課長に宮口正行防犯課長（35学2法）が起用された。宮口課長は二十九年に府警に入り、五十九年保安課長。六十年防犯課長。汚職や詐欺などの知能犯を担当する捜査二課育ちである。

行政書士秀麗会が発足

大阪府行政書士会員で関西大学OBの念願であった校友会の組織、大阪府行政書士秀麗会の設立総会が四月五日、大東市野崎の国際観光旅館「魚捨」で、樫本校友会長、改喜行政書士会長を迎え行われた。

松浦昭氏の司会で始まり同氏から経過報告、樫本会長、改喜会長のあいさつがあり、川島昌治氏を議長に選出、会則の承認、役員選出、今後の事業計画が承認された。終わって親睦会では各会員の自己紹介が行われ、最後にカラオケも飛び出し、会員の団結と母校への協力を約し盛会裡に閉会した。

役員次の通り

▽支部長　平　島広▽副支部長　川島昌治、松浦　昭▽幹事長　平岡昭雄▽副幹事長　玉　里光三、大塚元一、伊藤栄保▽会計　大塚元一▽会計監査　松木博、塩野征四郎▽幹事出席者全員

事務局　大阪市東区南久太郎町三―一五（白鳥ビル）平岡行政書士事務所内（平岡昭雄記）

雄大な海岸美　緑豊かな山々
山陰の旅情〈香住海岸
新鮮な海・山の幸を料理！　懇親旅行、ゼミ旅行などお気軽にご利用下さい（海水浴の予約受付中！早目にどうぞ）
◆豊富な海の幸荒磯料理
◆高級和牛のふるさと但馬牛料理
◆冬の味覚がに料理（11月初～3月下旬）
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（民宿風で最新設備・駐車場完備）
海辺の宿 はまかぜ荘
香住生まれのOB 宿院　寿彦（36学1商卒）
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL 07963-6-0773（香住駅から車で4分）
〒669-65 兵庫県城崎郡香住町下浜

新宴会場オープン
支部総会・記念パーティーに。
千里阪急ホテル
地下鉄千里中央駅前　TEL (06)872-2211

内外国特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大北興産ビル2F・3F
（地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
四ツ橋交差点西角
電話　大阪〇六（五三一）七四三一（代）
国際テレックス　〇五二五一九〇五TSIPDL
ファックス　〇六（五三一）七四三五

ダイヤモンドのことなら……
60年の信頼
心斎橋の輝く宝石〝ツルヤ〟でお選び下さい
心斎橋
時計　宝石　眼鏡
ツルヤ
(06)211―1024

名陶のさと信楽
1200年の伝統を受け継いだ
こころ暖まるやきものをあなたに
●創作陶器　企画・販売　展示即売場
●GALLERY藤陶（新進作品から伝統工芸品まで）
●湖州路　季節料理（まつたけ、ぼたん、山菜）
●一番館　軽食・喫茶

陶芸教室もできます
ファミリー単位でお申し込み下さい。

・名神・瀬田西インターから信楽方面へ25分
・オレンジシガカントリークラブへは車で5分
大塚製薬グループ肖像陶板代理店
株式会社 藤陶
代表取締役　藤田義一
営業担当　藤田仁史（昭60経卒）
〒529-18 滋賀県甲賀郡信楽町黄瀬2328―1
TEL 07488―3―1177　FAX 07488―3―1200

豊かなくらしに住まいの装飾
at home
〝アット・ホーム〟づくりをお手伝いして50年
《インテリア・ヤマシロ》
ブライダル家具から室内外設計・改装工事まで、みなさまの〝住まいの相談役〟としてご愛顧下さいませ。
・日本インテリアデザイナー協会正会員　・日本室内設計士会会員
・インテリアアドバイザー加盟店　・建設業許可（58-第55018号）
株式会社 山城屋家具装飾店
装飾部　豊中市本町1丁目3番2号　TEL (06)854-2251
家具部　豊中市中桜塚2丁目12番9号　TEL (06)841-5700
営業部　豊中市岡上町3丁目1番11号　TEL (06)841-5796
店舗設計施工部　豊中市岡上町3丁目1番11号　TEL (06)841-5725
航空部OB　能川夏代（旧姓山下・昭42学1新卒）

大島先生の偉業讃える

〝偲ぶ会〟に300余人集う

21世紀の仲間づくりとスポーツを考える会＝久井忠雄会長(関西大学理事長)＝主催の「大島鎌吉先生を偲ぶ会」が、三月二十七日午後六時から新阪急ホテル紫の間で、関西大学体育OB会や体育関係OBらを中心に約三百人が出席して盛大に催された。

総司会は石橋省三NHK大阪放送局チーフ・アナウンサーで、大島氏の冥福を祈念して全員が黙祷を捧げ、松井清関西大学体育OB会長代行が開会のあいさつ、久井理事長ら代表が遺影に献花した。続いてベルリン・オリンピック棒高飛び銀メダリスト西田修平氏の「大島鎌吉氏を語る」という記念講演が行われた。

西田氏は「大島さんは『金メダルでなければメダルではない』という信念をもち、ロスアンゼルス以後も精進された」と讃え、大島氏と行を共にした外国遠征のフィンランド無銭旅行など思い出を語った。

第二部は席をかえて懇親会に移った。主催者を代表して久井理事長が謝辞を述べ、来賓の原田憲衆議院議員、友人代表の土井勝氏(土井勝料理学校長)、大西昭男関西大学学長があいさつした。

懇親会場での全員による献杯

大学に遺品を寄贈

このあと遺族の大島章和氏から関西大学に対して遺品が寄贈されることになり、目録が久井理事長に手渡された。久井理事長から大島氏に感謝状が贈られた。

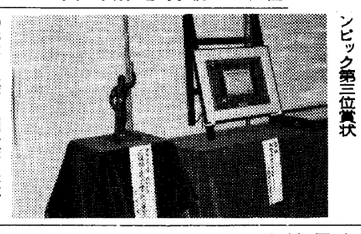
遺品は世界新記録樹立の記念トロフィー(昭和九年)、ロスアンゼルス・オリンピック第三位(銅メダル)賞状などオリンピック、スポーツ関係記念品、蔵書約三千冊など貴重なもので、ながく関大で保存される。

献杯は中塚昌胤(財)大阪21世紀協会理事長の発声で行われ、懇談に入った。

また刊行された「スポーツと人間」(大島鎌吉、伴義孝共著)も披露された。内容は関西大学関係の新聞や雑誌に掲載したエッセイを中心に編集したものでB6判、二百七十五㌻。本書は非売品であるが、収益金を一〇〇周年募金に充当するため、一冊二千円(〒三百円)で頒布する。申し込みは〒564吹田市山手町三ノ三五、関西大学体育館内「スポーツと人間」係へ。

同会主催の「みんなのスポーツ大阪まつり…第二回大阪21世紀計画協賛チャリティ・タートルマラソン大阪オープン大会は、三月三十日、大阪城公園周回五㌔㍍、正午スタートで行われ、約五百人が完走した。

遺影の前で記念講演する西田修平氏



寄贈された遺品の一部。世界新記録樹立(昭和九年)記念トロフィ(左)とロスアンゼルス・オリンピック第三位賞状

3氏に博士学位記授与

博士の学位記授与式が三月二十七日正午から関西大学会館来賓室で行われた。

今回授与されたのは、文学博士が浦西和彦氏(文学部教授)。工学博士が三宅秀和(工学部助手)杉本隆史(同)の両氏。大西昭男学長から各氏に学位記が授与された。各氏の論題はつぎのとおり。

浦西氏「日本プロレタリア文学の研究」

三宅氏「鋳鉄の初晶オーステナイトの凝固に関する研究」

杉本氏「Ti−Al基多元系チタン合金の状態図と熱処理に関する金属組織学的研究」

2人の氏名判明

関大出身戦没学生

関西大学年史資料編集室は関西大学出身戦没学生の名簿づくりをすすめているが、このほど校友会に高知市在住の鶴見宗宏氏(臨16専1商)からつぎの二人が戦没していると連絡があった。

▽世古利治氏(15専1経)

20・2・18　南方で戦死。

▽牧野三男氏(19大法)終戦後、ベトナムで戦病死。

新会長に松井清氏

体育OB会総会

体制強化へ特別委設置

体育OB会総会は三月十二日、大阪北区の新阪急ホテルで開催された。今回の総会は、役員の任期満了に伴う改選期となった。

昨年三月、前大島鎌吉会長が逝去して以来、松井清表彰」、第三部懇親会、と盛大に挙行された。

総会は、会の体制強化策として副理事長制を置く会則の改訂を承認した後、役員の改選を別項の通り承認し、松井清氏(13専1経・レスリング)が新会長に就任した。

松井会長は、体育OB会が結成となった昭和三十一年以来副会長としてOB会の運営に当たってきたベテラン。また全日本学生レスリング連盟会長を長年務め、特に学生スポーツの振興については全国的に活躍してきた。

引きつづき副会長となった尾郁之介氏(アメリカンフットボール)は松井氏とともにOB会設立当初よりの中心メンバーの一人。両氏のOB会の生き字引き的手腕の協調路線が真価を発揮することとなった。

松井会長は「本年の母校創立一〇〇周年を発条として、母校の体育振興に一層寄与し、もって関西大学の発展に資する協力を体育OB会をあげて推進していく」と決意を表明し、また「関西大学が独自の学風を確立し、名実ともに私学の雄となるためには、体育関係者の責任は大きい」と強調した。

久井理事長は「一〇一年目からの関西大学がいかにあるべきか、その地歩は知育・徳育・体育を基盤に、確実な大学運営をとり行うところに生まれる。そこに体育が受けもつものは大きい。大島鎌吉先生のご遺志を受け今いでOB会一丸となり、母校の発展のために協力してほしい」と期待を寄せた。

総会では最後に、「特別委員会」の設置について説明を行い、今後は特別委員会の活動をとおして、母校の体育振興を強力によびかける方針を発表した。委員長の原田敏郎氏(空手)は、委員会メンバーを紹介し、席上「一方に片よった私立大学の発展はありえない。将来社会をみまわすならば、いまこそ、関西大学は文武両道の大学としてのあり方が世に問われているのである。そのため本委員会は、母校の体育振興に資する諸活動を強力に進める。会員の絶大な支援をお願いしたい」と抱負を述べた。

「現役表彰」は、昭和六十年度に活躍した個人、団体ならびに各部の運営に功労のあった部員に賞が贈られた。

第三部懇親会は、北尾郁之介副会長の「未来に生きる関大を創造するためには、いまわれわれが、その心意気を現役に託さなければならない。苦しい時にこそ、一致協力してその責を果たそうではないか」という力強い開会の辞で始まった。これに応えてOB会顧問の矢野文雄初代会長や、関西学院大学体育OB倶楽部の米田満幹事長などが支援の言葉をおくった。

新役員(任期は四月一日から三年間)

▽会長　松井清(レスリング)▽副会長　北尾郁之介(アメリカン・フットボール)同、大橋正信(野球)同、鳥居康三(柔道)▽理事長、宝田重幸(ラグービー)▽副理事長、原田敏郎(空手)同、田中章博(拳法)

テレホンカード大好評！

購入申込みはお早めに

校友会では、母校の創立一〇〇周年を広く校友や一般市民にPRすることを目的に、校友会の一〇〇周年記念事業の一つとして、テレホンカードを発行、四月六日のスプリングフェスティバルから発売したが、校友の評判も良く、スプリングフェスティバル当日だけでも五百セットが販売された。

また、支部や職域会からも記念品にしたいと一〇〇セット、二〇〇セットとまとめて注文があり、本紙三月号に発表以来、全国各地から現金書留で申し込みのあった数を加えると総計で二千五百セット弱となり、今も問い合わせや、現金書留での申し込みが続いている。

校友会では五千セット位の限定販売を考えており、希望者は早急に申し込んでもらいたい。なお、関大生協のプレイガイドでも販売している。

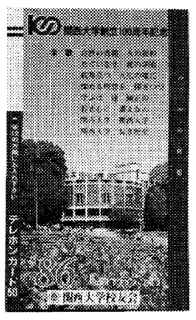
カードは、大学のシンボルである新旧図書館をあしらったタテ・ヨコの二種類で、それぞれ五十度数券。

ヨコ型は、紫紺のスクールカラーを基調にして、一〇〇周年のシンボルマークに総合図書館を浮かび上がらせた斬新なデザイン。

タテ型は、紫紺のふちどりの中に、つつじが咲き乱れる旧図書館本館(簡文館)の遠景に学歌を刷り込んだシンプルな感じのもので、母校の第二世紀への飛躍と、百年の重い歴史を伝える対照的なデザインとなっている。

販売は一セット一、五〇〇円(送料別)。申し込みは現金書留で、購入セット数の代金に送料(簡易書留で発送)を加えた金額を、〒五六四　吹田市山手町三―三―三五　関西大学校友会・館内　関西大学校友会・カード係あてお送り下さい。

なお送料は、一セット三一〇円、二～三セット三二〇円、四～六セット四二〇円、七～一七セット四九〇円、一八～三四セット六〇〇円、三五セット以上九五〇円。



おそばのおいしいお店、家族亭へお立ち寄り下さいませ

信州そば　家族亭

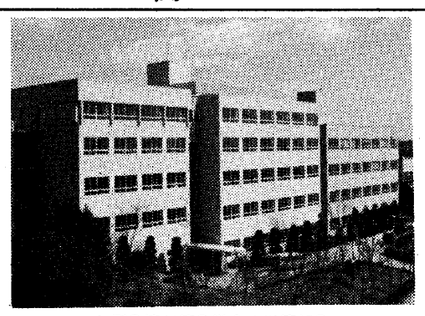
関西店　阪急三番街/ウメダ地下街/阪急32番街/ナビオ阪急/難波戎橋筋/ミナミ地下街/南OSプラザ/地下鉄住之江終点/江坂東急ビル/府道茨木豊東北/高槻松坂屋/阪急川西能勢口駅前/国道171号西宮門戸阪標西/阪急三宮駅西口/神戸ポートアイランド/堺高島屋

東京店　有楽町/渋谷/霞田/池袋/新宿/荻窪/大森/北千住/八王子

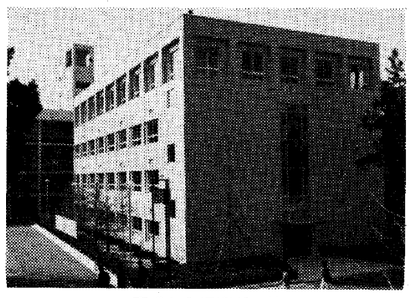
横浜店　ヨコハマルミネ　浦和店　伊勢丹

津田沼店　イトーヨーカドー　新潟店　伊勢丹

札幌店　丸井今井本店　浜松店　松菱



左側2棟が第3学舎の増築部分



完成した経商ゼミ棟

第三学舎とゼミ棟

増築が完成

関西大学では昨年七月から第三学舎(社会学部)の増築と経商ゼミナール棟(第二学舎一号館)の工事を行ってきたが、このほど完成。四月二日、竣工式が行われた。

第三学舎は学生定員、教員数の増加、カリキュラムの充実等に伴い、環境の整備、充実が要望されていた。増築棟部分には情報処理関係の端末機室、各専攻の実験・実習室、セミナール室、語学教室、講義室、学生控室等が配置されている。

経商ゼミナール棟は、ゼミナール教室十六室が中心であり、教室数の大幅な増加に伴い、経済学部、商学部にとってゆとりのあるゼミナールが可能となる。

竣工式はゼミナール棟が午前十一時から、第三学舎が同十一時四十分から、それぞれの建物内で、久井忠雄理事長、大西昭男学長、各学部長、佐々木砂夫評議員会議長、芦田定男評議員会学事委員長、樫本信雄校友会長、施工の㈱竹中工務店関係者らが出席して行われた。

関西大学を彩る人々〈12〉

大石雄一郎(下)

年史資料編集室　森田　由記

無類の試験好き

「スポーツにはそれぞれ規則があるが、スポーツの総則というものがない。〝スポーツ法典〟ともいうべき体系づけた規則を作る必要がある。やかましくいわれているスポーツマンシップやアマチュアリズムも、総則がまとまれば理論的に確立されるはずだ」

記者の立場からスポーツの振興に携わるうちに、こう感じた大石は、まず法律の勉強から入るのが早道と考えた。記者生活のかたわら図書館に通い、一人黙々と法律書をひもといたが、そのうち高文試験行政科の受験を思い立った。過去の試験データを手製のカードに克明に記し、〝傾向と対策〟を練るという非常に理論的な勉強方法で、見事、最難関とされる試験を突破したのである。高文試験行政科といえば、高級官僚への登龍門である。しかし、大石は目の前のエリートコースに見向きもしなかった。

そんな大石を、長男雄爾(27学1経)は「無類の試験好き」と評する。高文受験にしても単なる腕だめしであった。後に、「これだけ覚えれば合格する」といって渡された手製のカードは、石炭箱二、三杯にぎっしり詰まっていたという。

受験のきっかけとなった〝スポーツ法典〟は大石のライフワークとなり、終生、この課題を、世に、人に訴え続けたのである。

「人間、いつ、どこで、どうなるかわからない。もし新聞社をやめても、免許があればタクシーの運転手になれるから生活していける」こういって、大阪に、まだ自動車が約二百台しかなかった大正半ばに、運転免許を取得したことが自慢のタネであった。これも、あるいは目新しいものへのチャレンジ精神と試験好きの虫が頭をもたげたせいではなかろうか。

記者から社長へ転身

大石は頑固な一徹者である半面、新しいものをどんどん吸収しようとする魁の精神をも兼ね備えていたのである。

〝円〟の軌跡残した人生

〝スポーツ法典〟を終生訴える

記者から社長へ転身

大石は頑固な一徹者である半面、新しいものをどんどん吸収しようとする魁の精神をも兼ね備えていたのではなかろうか。

退社後、しばらくは万年筆などを売っていたが、やがて、新聞社から使い残しの紙を買い付け、裁断して売るという商売を始めた。大石紙工業の創設である。かつて記者として活躍したころ、長男雄爾が関大予科から経済学部へ進んだ。息子が自発的に母校関大を選んだことは、やはり大石にとって喜びであったにちがいない。雄爾には内緒で、教育後援会の発足から積極的に参画し、副会長を経て、昭和二十六年には第三代会長に就任した。卒業式の日、壇上で会長として祝辞を述べる父に、何も知らされていなかった雄爾は非常に驚いたという。そのスピーチは、「関大の伝統言葉でいうなれば〝ごっつあんで〟という様なもんだ」と始まり、「君たちも社会に出れば、飲み屋で会うこともあるだろうし、パチンコ屋で会うこともあるだろう。そんな時には、同じ関大の卒業生同士。まあ一杯飲みに行こうじゃない」という型破りなものであった。堅苦しい祝辞が続く中、満場の笑いをさそい、なごやかな雰囲気を生んだ。

〝円の中心点〟に

「わたしは、ただ自分がやれることをやってきただけですよ。それでいいんじゃありませんか」。スポーツ振興の労を讃えられた大石は、こういってほほえんだという。

「実るほど頭をたれる稲穂かな」のことわざを座右の銘として、おごることなく、縁の下の力持ちに徹した人生であった。

かつての軟庭の名選手鳥山隆夫は、大石を〝コンパスで描いた円の中心点〟と評した。事を始めるにあたっては、中心となって活躍するが、一旦、軌道に乗ると、表に現れず裏方に徹する人物の意で、まことに言い得て妙なる評である。大石自身も「鳥山さんは、うまいことというもんだ」と、うれしそうに、事あるごとに口にしたという。

八十三歳の誕生日をむかえたばかりの昭和五十五年七月十一日、大石雄一郎は、その生涯をとじた。

大石が思いをこめて描きつづけた、いくつもの〝円〟は、今もなお、変わらぬ軌跡を残している。(敬称略)

スポーツ行政の場へ

昭和二十三年、大阪市体育厚生協会理事長をつとめて以来、スポーツ行政にも携わるようになった。

家業の方は、大石工紙業から、新聞印刷・朝日グラビア印刷にまで手を広げ、順調であったが、やはり根っからの商売人ではなかったのであろうか、次第に経営にタッチするのをやめ、人まかせにした。その後、業績が思わしくなくなると、きっぱり解散してしまった。

大阪市のスポーツ行政という活躍の場を得た大石は、スポーツ審議会委員、体育厚生協会委員等を歴任し、四七年から四年間、教育委員をつとめた。財界人、大学教授などから選ばれることの多い教育委員に、スポーツ関係から選ばれたことに対して、「社会情勢が週休二日制の方向に進んでいる現在、余暇の利用はますます重要な問題となっている。スポーツ、レクリエーションなどを無統制のまま放置せずに、一つの指針のもとに若い人を導いていかねばならない」と抱負を語っている。

五十年には、教育委員長に推薦され、年間予算八百五十億円という大世帯をまかなう重責を果たした。

スポーツが一部の上流階級のものにすぎなかった時代から、だれもがレクリエーションとしてスポーツを楽しむようになった現在まで、一貫してアマチュアスポーツの普及、振興に尽力した功績を評して、文部大臣表彰、大阪市民表彰、勲五等双光旭日章が贈られている。

経済面でも、母校拡充募金に多額を寄付し、細江文庫の設置に際しても少なからぬ援助を行なった。

スポーツ行政の場へ

昭和二十三年、大阪市体育厚生協会理事長をつとめて以来、スポーツ行政にも携わるようになった。

家業の方は、大石工紙業から、新聞印刷・朝日グラビア印刷にまで手を広げ、順調であったが、やはり根っからの商売人ではなかったのであろうか、次第に経営にタッチするのをやめ、人まかせにした。その後、業績が思わしくなくなると、きっぱり解散してしまった。

大阪市のスポーツ行政という活躍の場を得た大石は、スポーツ審議会委員、体育厚生協会委員等を歴任し、四七年から四年間、教育委員をつとめた。財界人、大学教授などから選ばれることの多い教育委員に、スポーツ関係から選ばれたことに対して、「社会情勢が週休二日制の方向に進んでいる現在、余暇の利用はますます重要な問題となっている。スポーツ、レクリエーションなどを無統制のまま放置せずに、一つの指針のもとに若い人を導いていかねばならない」と抱負を語っている。

五十年には、教育委員長に推薦され、年間予算八百五十億円という大世帯をまかなう重責を果たした。

スポーツが一部の上流階級のものにすぎなかった時代から、だれもがレクリエーションとしてスポーツを楽しむようになった現在まで、一貫してアマチュアスポーツの普及、振興に尽力した功績を評して、文部大臣表彰、大阪市民表彰、勲五等双光旭日章が贈られている。

新生氷上支部が発足

摂丹多可を発展的に解消

母校創立一〇〇周年を機に、支部の再建を目指していた摂丹多可支部(前川茂雄支部長)では、支部範囲が広すぎ十分な活動ができ難いなどの理由から、新しく氷上郡内の六町在住校友を会員に「氷上支部」として新発足することになり、三月二十三日午後二時から柏原町上小倉の吉祥苑で、創立総会を開催した。

彼岸も過ぎたというのに前日からの雨が夜には雪にかわり、当日は当地でも珍しい十㌢を越える一面の銀世界。会員の集まりが心配されたが、定刻には、宝田重幸組織部長、上田保雄組織部役員ら本部からの来賓はじめ、会員も二十五人がかけつけた。

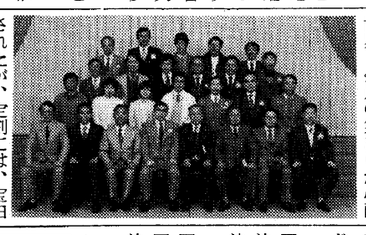
第一部総会では、学歌斉唱のあと議事に入り、田村誠吾世話人代表から、昨年十一月以来七回に及ぶ準備委員会の開催と、氷上支部として独立、活動していくことになった経過が詳しく報告されると満場一致で承認。早速、会則の採択、新役員の選出が行われ、新支部長に芦田敏郎氏(27法)を選出した。

芦田新支部長は「今、まさに早春、種を播く時であり、本日、その種は播かれた。今後は皆さんのご協力により芽を出し、大きく根を張って伸びていきたい」と抱負を語った。

記念撮影のあと、会場を移して第二部懇親パーティが行われ、各自が楽しいテーブルスピーチや自慢のものを披露。

主な役員は次のとおり。

▽副支部長・片山　允(30法)▽幹事長・田村誠吾(38法)▽副幹事長・中川幸生(39商)東浦　寛(45文)▽会計・足立博明(54商)▽会計監事・谷垣　晃(45法)婦木康一(46文)(世話人・清水正己　記)



校友の消息

▽元大阪府参事、前大阪府統計協会参与、横山清美氏(30院修法)はさきごろ豊中市服部緑地の㈱日本民家集落博物館長に就任した。電話〇六―862―三一三七

◇守口市助役に喜多洋三氏

守口市の理事兼企画財政部長、喜多洋三氏(30経、32法)が、三月二十八日付で助役に就任した。

◇河内長野市議に校友林氏

河内長野市市議選(定数二四)は三月十三日に告示されたが、立候補を届けたのは二十四人で無投票当選が決まり、校友の林　貞夫氏(㈳党)副支部長　公新(38学2商)が当選した。

鶴屋先生を送る会

大阪市中学校教員尚志会

三月三十一日付で勇退の鶴屋一彦先生(阿倍野中学校長・25学2法)を送る会が発起人、竜崎留治(下福島中校長)武内修(加美中校長)両氏をはじめ大阪市中学校教員尚志会有志ら二十二人が出席して三月二十六日午後六時から川富(南区宗右衛門町)で開かれた。

稲野治兵衛副理事長、坂井三郎氏(尚志会顧問)も来賓として出席。会合は鶴屋先生への感謝と惜別の情にあふれ、学歌、逍遥歌、応援歌などが合唱され和やかな雰囲気のうちに運ばれ、尚志会の活性化と母校一〇〇周年記念行事を成功させるべく決意を表明して散会した。(河野記)

素朴な海辺の旅情――

丹後　久美浜

懇親旅行、家族旅行、ゼミ旅行クラブ合宿など、お気軽にご利用下さい。

―推選　法学部教授、拳法部顧問　堀　堅士先生―

生うに料理(1年中)

カニ料理(11月中旬～3月下旬)

カキ料理(11月中旬～3月下旬)

●その他ご予算に応じて料理いたします。

山陰海岸国立公園　旅館小天橋

平井善次郎(31年法学部卒)

■ご予約・お問い合わせは

☎(07728)3―0371(代)

京都府久美浜町湊宮(湊大橋手前)

全国仲人連合会結婚相談所

―関大卒業生は入会金無料―

〒578 東大阪市花園東町2-14-17

TEL 0729(81)2763　大谷　杲(29学1経卒)

EIKO

TOTAL TECH GROUP

総合電気設備　栄興電機工業株式会社

TEL.(06)491―5301(代)　FAX.(06)493―1051

コンベヤー・搬送機　栄興設備工業株式会社

TEL.(06)349―2831(代)　FAX.(06)349―0765

自動制御盤　株式会社　エイコーパネル

TEL.(06)491―5735(代)

代表取締役　小坂光則　昭28年商卒

代表取締役　三木憲三　昭28年法卒

本社　〒661 尼崎市下食満南台233―17

工場　〒564 摂津市一津屋3丁目3―14

TAKENAKA

知能を使いこなすビル。

竹中のインテリジェントオフィスシステム

情報化社会に対応する装備を持ち、それを効果的に運用する新しいオフィスシステムが誕生しました。竹中の「インテリジェントオフィスシステム」。OA化はもとより、ビル内外の情報通信網の構築から、その管理・運営・サービスまでを網羅するシステムです。加えて、オフィスワーカーの創造力の向上をテーマに、新しい環境づくりを提案する点も、このシステムの大きな特色となっています。現在、大阪の新御堂筋沿いに建設中の「梅田センタービル」は、その具現化の一例として注目を集めています。

オーナーとテナントの相互メリットを追求

時代が求める諸機能を備え、その効率運用をはかるインテリジェントビルは、オーナーにとって高い付加価値を持つビルです。一方、テナントにとっては、高度な情報通信設備とサービスを、きわめて経済的に利用できるのが魅力です。時代のニーズを先取りする知的なビル――竹中の企画・設計・施工・サービスの総合力が、最も発揮される分野です。

創業1610年　竹中工務店

ゆかしい特選陶器

京・清水焼

朝日堂

〒605 京都市東山区清水一丁目280

電話(075)531―2181

(S.45卒　淺井國勝)

テクノロジーの散歩道 —32—

レーザーの利用で

光計測技術　飛躍的に進歩

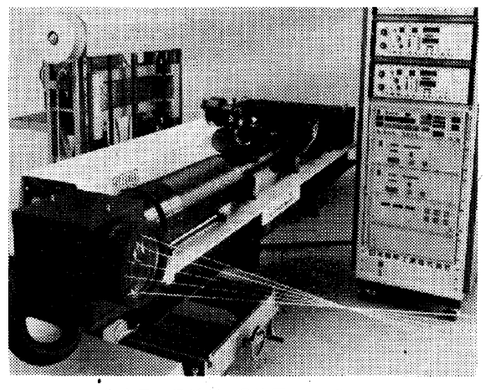
流体熱計測
工学部助教授　大場　謙吉

一九六〇年にレーザーが発明されて以来、レーザーの持つ優れた時間的、空間的可干渉性と指向性を利用することにより従来の電気・機械技術のみでは果たし得なかった非接触、非破壊（無侵襲）、無撹乱、高速、高精度な計測が可能になり、様々な光学現象、例えば干渉、回折、偏光、反射、吸収、発光等を利用した光計測技術の研究開発が活発に進められて来た。

最近では、これに加えて半導体レーザー、発光ダイオード、フォトダイオード等の半導体発光受光素子や光ファイバー、さらにはその周辺を支える各種の微小光学素子の導入により光計測システムの小型化、高信頼化がいっそう進み、コンピュータを用いた情報処理技術と結合させることによって、光計測技術は基礎科学の分野のみならず、電力（発電・送電）、機械工業、化学・石油プラントにおけるプロセス計装、医療、資源・環境計測等の広範な分野で用いられるようになっている。

流体工学および熱工学分野でもレーザーの利用は急速に進んでいる。付表に熱および流体の関連分野における計測技術の応用例を掲げる（レーザー研究13巻1号より抜すい）。これらの中には既に工業や医療の現場における実用技術として定着しているものもあり、一方まだ研究室レベルでしか使用されていないものもあるが、光の利用がますます広がることは間違い無いであろう。

流体機械に話を限定しても、例えばタービン、ポンプ、送風機、船舶や航空機のプロペラ等の回転翼まわりの流れ場を正確に知ることは在来の測定法では不可能であり、永年の課題であったが、レーザー流速計の出現によって3次元速度ベクトルの局所測定が可能になるに及んで、この問題は解決されたと言える。添付の写真は2カラー5ビームの3次元レーザー流速計である（日本科学工業㈱の提供による）。写真の左側が光学系、右側が信号処理系であり、左下のレンズから出た5本のビームが集中している点が測定点である。



2カラー5ビーム3次元レーザー流速計

レーザー計測の熱・流体分野への応用例

プロセス計装	温度	黒体放射、光吸収、フォトルミ、光遮蔽、結晶の複屈折、蛍光
	圧力 流量、流速	反射(ダイヤフラム利用)、光遮蔽、レーザー誘起燐光、ドップラ効果、相関の利用
	レベル	屈折率の変化
	油もれ	油付着による光ファイバの損失変化
機械工業	表面形状、一様性、傷等	干渉計、モアレ法、空間フィルタ法
	速度	ドップラ効果、スペックル応用、空間フィルタ法
	変位・振動	モアレ法、スペックル応用、干渉計、ホログラフィ
環境	温度	黒体放射、ラマン散乱、レーザー誘起蛍光
	気温、風速、風向	ラマン散乱、レーリ散乱
	ガス(大気汚染爆発性ガス)	差分吸収、ドップラ効果 光吸収、ラマン散乱
医療	血流	ドップラ効果
	圧力	反射(ダイヤフラム)
	血液凝集	光散乱
	代謝・検出、癌細胞	反射光スペクトル分析
	形態計測	ホログラフィ、モアレ法

人民大学習堂の遠景

着実に建設の道を

平壌を訪ねて〈下〉

工学部教授　大岩　正芳

平壌は大きな建物が多いと先に書いたが、その内で特にひときわ大きいのが人民大学習堂であろう。パレードなどがいつも行われる金日成広場の正面には、行事の際に政府高官たちが並ぶ雛壇となる建物があるが、大学習堂はその建物の背後の丘にあり、その上にさらに小山のように堂々とあたりをへいげいしている。一見した感じでは雛壇は大学習堂の一部に取り込まれ、学習堂が広場の正面の建物のように見える。いわば北朝鮮の顔ともいえる建物となっている。それが驚くべきことに政治に関係した建物ではなく、図書館、すなわち、学習堂なのである。このこともまた教育を重視することの国らしい発想の現れの一つであろう。

大学習堂は建坪延十万平方㍍、内外共に大理石が張り巡らされており、実に豪華で立派である。各階の天井も高く、広々とした中央ホールなどは少しぜいたく過ぎるのではないか、との印象を受けた。それは狭い土地で、効率ばかりを考えて暮している日本人的発想かもしれない。

今回の訪問で驚いたのは、西に流れる大同江と、山脈を挟んで東に流れる竜興江を利用して運河を作り、黄海から日本海まで船を通そうという計画が進行していることであった。貯水や洪水対策の他、北朝鮮で現在なやみの種の一つである輸送の問題も、この計画で解決しようとしているものである。大同江の河口に八キロに及ぶ堤防を建設中で、その完成も間近い。それが完成すれば河口の南浦には数万トン級の船が、また、平壌にも千トン級の船が入れるようになるそうである。

その現場を見学することはできなかったが、われわれは平壌より少し上流に完成していた二つの閘門（こうもん）を見学することができた。その一つである一九八〇年に完成した美林（ミリン）閘門は長さ一キロ、平壌市街の見える所にあり、落差十㍍、発電能力八千キロワット。この閘門によりできた人造湖の周辺は市民のいこいの場になっていた。

北朝鮮ではこの他にも土木工事がさかんに行われており、十年間に三〇万ヘクタールの海面を干拓し、農地にしようとしている。スケールの大きい計画が次々実行されていることは、すばらしいことである。しかし、その速度が速いだけに、環境問題など大丈夫だろうか、とチョッピリ心配にもなった。

まだ他にも書きたいことはいくつもあるが、今回はこのていどにしておこう。北朝鮮はともかく美しい国であり、清潔な国である。また、一歩一歩着実に建設の道を歩んでいることも確かである。

新学士巣立つ

六十年度の学部卒業式は三月二十五日に行われ、四千八百二十人の新学士が巣立っていった。

千里山学舎では、午前十時から第一部の文、経済、社会の各学部、午後一時から法、商、工の各学部の式が行われた。また天六学舎では、午後五時半から第二部の法、文、経済・商、社会の全学部が式を挙行した。

新しく学士の称号を認められたのは、法学部七百八十四人（第一部六百八十三人、第二部百一人）、文学部六百二十九人、（五百四十五人、八十四人）、経済学部八百六十一人（七百五十九人、百二人）、商学部七百八十九人（七百三十三人、五十六人）、社会学部六百十五人（五百六十六人、四十九人）、工学部千百四十二人。

大学院でも授与式

昭和六十年度関西大学学位（修士）記授与式と博士課程後期課程単位修得証書授与式が三月二十七日、岩崎記念館（大学院）で挙行され、百八十二人の新修士と十七人の博士課程後期課程単位修得者が誕生した。正午より開催された謝恩祝賀会は、網本関西大学博修士会事業部理事の司会で正木同事業部長の開会の辞、学歌斉唱、佐々木同会長の挨拶の後、高い志と大きな野望を持って欲しいとの大西学長、キリギリス人生を説く久井理事長、金田校友会事務局長などの祝辞、併せて一〇〇番目の博士誕生を祝する横川大学院部長の乾杯の音頭で懇親会に移った。最後に、各研究科を代表して機械工学専攻の山本陽子さんの謝辞、逍遥歌と続き、津川副会長の閉会の辞で幕を閉じた。（O・F記）

関大人事

大橋教授が教学部長に

就職部長は中辻教授

関西大学は三月三十一日の理事会で、一身上の都合で辞任の石川啓教学部長の後任をつぎのように決めた。任期は四月一日から六十三年九月三十日まで。

▽教学部長
商学部教授　大橋　昭一
㊐昭30　和歌山大学経済学部卒業。昭32　神戸大学大学院修了。昭38　関西大学助教授。昭45　教授。昭54・10～55・9　商学部長。昭57・10～60・9　就職部長。昭60・10～61・3　就職部長。研究分野は経営学原理。経営学博士。

▽就職部長
商学部教授　中辻　卯一
㊐昭32　関西大学経済学部卒業。昭34　同大学院修了。昭40　関西大学助教授。昭47　教授。昭50・10～51・9　商学部長代理。昭52・10～53・9　学生部長代理。昭56・10～57・9　商学部長。研究分野は経営情報論。

▽異動
工学部長　教授　前田　春興
工業技術研究所長　教授　宮谷　義六
一般教育等研究センター所長　教授　古後　楠徳
教職課程研究センター所長　教授　右島　洋介
情報処理センター所長　教授　山川　雄巳
第一高等学校長兼ねて第一中学校長　教諭　西岡宸
第一高等学校教頭　教諭　米里　豊司
第一中学校教頭　教諭　田中正憲
—教育職員—　4月1日付

▼任用
【法学部】専任講師　梶原基司、早川徹
【文学部】教授　伊地智均、河田悌一、樋口欣三▽助教授　井上泰山、上田誉志美、平雅行▽専任講師　井上克人、上島紳一
【経済学部】教授　村田安雄▽専任講師　周防節雄、竹下公視
【社会学部】専任講師　高瀬武典
【工学部】教授　入江敏博▽助手　池田勝彦▽副手　窪田安一
【第一中学校兼第一高等学校】教諭　西村吉輝

▼昇任
【法学部】教授　岡徹、栗田和彦▽助教授　市原靖久、大和正史
【文学部】教授　川神伝弘、島崎守、白藤一郎、武市修、長谷川存古、浜本隆志、林省之介、森瀬寿三、八亀徳也
【経済学部】教授　市川浩平、大塚忠
【商学部】教授　田中茂和
【社会学部】助教授　架場久和
【工学部】教授　大東延久、藤井拓蔵、横田勝弘▽助教授　門側幸宏、樋口誠宏▽専任講師　隈元昭、白岩正▽助手　北尾匡史

▼退職
—停年—
▽文学部教授　加藤美雄、東専一郎、福光永司、山口一郎▽工学部教授　高橋陸男、堀内三郎▽同助教授　嶋仲美友▽第一高等学校・第一中学校教諭　佐藤滋夫
—依願退職—
▽社会学部助教授　小原仁
—事務職員—　4月1日付

▼異動
総務局付次長、関西大学教育後援会出向　森本靖一郎▽財務局次長兼ねて施設課長事務取扱　小笠公士▽総務局人事課長　北村博▽大学事務局付課長　工藤五郎▽大学事務局学務課長　岩村護▽学生部厚生課長　杉田晏崇▽図書館天六分館事務長　斎藤正路▽東西学術研究所事務長　武藤葉吉
3月31日付
▽停年▽施設課　森本甫▽厚生課　押谷寅勇▽総務課　川崎貞子▽経済学部事務室　村野ヨシ▽依願退職▽東西学術研究所事務室　萬里小路通宗▽学生課　樋野恒子▽工学部事務室　松田敦子
▽嘱託
医師、保健管理センター所長兼ねて第一診療所長　飯田紀彦
第一高等学校教諭　田中正憲
教諭　米里　豊司
—教育職員—　4月1日付

▼任用
【法学部】専任講師　梶原基司、早川徹
【文学部】教授　伊地智均、河田悌一、樋口欣三▽助教授　井上泰山、上田誉志美、平雅行▽専任講師　井上克人、上島紳一
【経済学部】教授　村田安雄▽専任講師　周防節雄、竹下公視
【社会学部】専任講師　高瀬武典
【工学部】教授　入江敏博▽助手　池田勝彦▽副手　窪田安一
【第一中学校兼第一高等学校】教諭　西村吉輝

▼昇任
【法学部】教授　岡徹、栗田和彦▽助教授　市原靖久、大和正史
【文学部】教授　川神伝弘、島崎守、白藤一郎、武市修、長谷川存古、浜本隆志、林省之介、森瀬寿三、八亀徳也
【経済学部】教授　市川浩平、大塚忠
【商学部】教授　田中茂和
【社会学部】助教授　架場久和
【工学部】教授　大東延久、藤井拓蔵、横田勝弘▽助教授　門側幸宏、樋口誠宏▽専任講師　隈元昭、白岩正▽助手　北尾匡史
3月31日付

▼退職
—停年—
▽文学部教授　加藤美雄、東専一郎、福光永司、山口一郎▽工学部教授　高橋陸男、堀内三郎▽同助教授　嶋仲美友▽第一高等学校・第一中学校教諭　佐藤滋夫
—依願退職—
▽社会学部助教授　小原仁
—事務職員—　4月1日付

▼異動
総務局付次長、関西大学教育後援会出向　森本靖一郎▽財務局次長兼ねて施設課長事務取扱　小笠公士▽総務局人事課長　北村博▽大学事務局付課長　工藤五郎▽大学事務局学務課長　岩村護▽学生部厚生課長　杉田晏崇▽図書館天六分館事務長　斎藤正路▽東西学術研究所事務長　武藤葉吉
3月31日付
▽停年▽施設課　森本甫▽厚生課　押谷寅勇▽総務課　川崎貞子▽経済学部事務室　村野ヨシ▽依願退職▽東西学術研究所事務室　萬里小路通宗▽学生課　樋野恒子▽工学部事務室　松田敦子
▽嘱託
医師、保健管理センター所長兼ねて第一診療所長　飯田紀彦

2教授が報告

第91回産業セミナー

関西大学経済・政治研究所主催の第九十一回産業セミナーが、三月十九日午後一時半から阪急グランドビル二十六階会議室で開かれた。テーマと報告者は次のとおり。

▽「営業許可制」について—法的性質をめぐる諸問題　池田敏雄法学部教授

▽クレジットの構造と法律問題　沢井　裕法学部教授

晴れて新関大生

4月3日　一、二部で入学式

関西大学の入学式は四月三日行われた。今年度から学年暦がかわり、入学式も早くなった。

千里山学舎では午前十時から第二部法、商、工学部午後一時から文、経済、社会学部が行われ、午後五時半から天六学舎で第二部法、文、経済、商、社会学部が行われた。入学者は第一部四千八百四十二人、第二部四百七十人。

大学院、一高、一中も

関西大学大学院の入学式は四月五日午前十時から行われた。博士課程前期課程・修士課程は百九十人、博士課程後期課程は二十一人。関西大学第一高等学校、第一中学校の入学式は四月八日午前九時半から行われ、一高は四百七十七人、一中は百七十八人が入学した。

飛鳥史学文学講座始まる

昭和六十一年度飛鳥史学文学講座の第一講が四月六日行われた。横田健一文学部教授の「古代の大学—中国の学問の継受と日本的学問の形成—」。第二講以後はつぎのとおり。

場所　明日香村中央公民館
時間　午後一時から三時
申込み連絡先〒564吹田市山手町三—三—三五　関西大学教育後援会内、飛鳥史学文学講座係、06三八八—一二二一内線四六四三　受講料年額三千円（テキスト代を含む）

▽第二講　五月三日（憲法記念日）有坂隆道文学部教授「藤の木古墳と蘇臣巳提便—豪華な鞍から探る六世紀の国際関係—」

▽第三講　六月一日、木下正俊同教授「山上憶良の臭跡—憶良の渡唐体験が残した痕跡—」

▽第四講　七月六日、山田幸一工学部教授「黄金分割の美しさ—ギリシア芸術美の東漸と大和古寺等のたたずまい—」

▽第五講　八月三日、神堀忍文学部教授「歌人　志貴皇子の王子・王孫たち—湯原王・市原王を中心として—」

▽第六講　九月七日、薗田香融同教授「大和と紀伊」

▽第七講　十月五日、谷沢永一同教授「天皇を演出する藤原不比等—日本政治学の原型—」

▽第八講　十一月九日、青木　晃同教授「戦国群雄の合戦譚—織田信長の石山攻め—」

▽第九講　十二月十四日、奥村郁三法学部教授「唐法の形成過程について」

▽第十講　一月十一日、亀井　清工学部教授「謎の青銅器　銅鐸—古代のロマンを奏でる銅鐸のしらべ—」

▽第十一講　二月八日、上井久義文学部教授「秦氏の桂と鴨氏の烏—古代氏族の聖なるシンボル」

▽第十二講　三月一日、網干善教同教授「飛鳥の先史文化—稲渕ムカング遺跡を中心として——」。

◇日時　五月十三～七月八日午後六時半～同八時半

◇会場　大阪府立文化情報センター（住友中之島ビル五階）

◇申込方法　往復はがきで（住所、氏名、年齢、電話番号記入）〒530大阪市北区中之島三丁目、大阪府立文化情報センターへ。

◇申込期日　四月十七日から。定員になり次第締切（先着順）

▽五月十三日　森　銑三翁のこと　法学部助教授山野博史▽同二十日　狂言・狂言師・大阪　文学部助教授　関屋俊彦▽六月十日　古代社会史のこころみ　同教授　上井久義▽同十七日　大阪土と聚楽土—建築美の演出者　工学部教授　山田幸一▽同二十四日　翻訳家としての堀口大学　文学部助教授　平田渡▽七月一日　堺の茶の湯—天文茶会記をよむ　同教授　泉澄一▽同八日　在日韓国・朝鮮人の作家たち　同吉田永宏

吹田市民大学教養講座（春期）

▽関西大学・吹田市市教育委員会共催

▽場所　吹田市市立千里市民急南千里駅下車すぐ）

▽受講資格・定員　一般成人。各コース二百人、受講料無料

▽申し込み方法　往復はがきに住所、氏名（返信用にもあて先を）、年齢、電話番号、希望コース番号を書いて吹田市中央公民館（〒564吹田市出口町4—1市民会館内、電話387—2088）へ。一人で全コース申し込めるが、一枚のはがきに1コース一人分だけ記入のこと。

各コース次の通り。

◇1コース「〈教育〉を問い直す」（五月十五日～七月三日　毎週木曜日　午前十時二十分開講）

◇2コース「情報化社会に生きる」（同　午後一時二十分開講）

◇3コース「法と政治の根底に潜むもの—歴史と現実に学ぶ—」（五月十六日～七月四日　毎週金曜日　午前十時二十分開講）

◇4コース「日本経済の国際化と情報化」（同　午後一時二十分開講）

大阪府人事

3月31日付

◇退職
◇部長級▽上田幸雄（収用委員会事務局長）28法▽石亀徳也
【経済学部】教授　市川浩
【商学部】教授　田中茂和
【社会学部】助教授　架場久和
【工学部】教授　大東延久、藤井拓蔵、横田勝弘▽助教授　門側幸宏、樋口誠宏▽専任講師　隈元昭、白岩正▽助手　北尾匡史
3月31日付

▼退職
—停年—
▽文学部教授　加藤美雄、東専一郎、福光永司、山口一郎▽工学部教授　高橋陸男、堀内三郎▽同助教授　嶋仲美友▽第一高等学校・第一中学校教諭　佐藤滋夫
—依願退職—
▽社会学部助教授　小原仁
—事務職員—　4月1日付

▼異動
総務局付次長、関西大学教育後援会出向　森本靖一郎▽財務局次長兼ねて施設課長事務取扱　小笠公士▽総務局人事課長　北村博▽大学事務局付課長　工藤五郎▽大学事務局学務課長　岩村護▽学生部厚生課長　杉田晏崇▽図書館天六分館事務長　斎藤正路▽東西学術研究所事務長　武藤葉吉
3月31日付
▽停年▽施設課　森本甫▽厚生課　押谷寅勇▽総務課　川崎貞子▽経済学部事務室　村野ヨシ▽依願退職▽東西学術研究所事務室　萬里小路通宗▽学生課　樋野恒子▽工学部事務室　松田敦子
▽嘱託
医師、保健管理センター所長兼ねて第一診療所長　飯田紀彦

大阪府人事

3月31日付

◇退職
◇部長級▽上田幸雄（収用委員会事務局長）28法▽石亀徳也
【経済学部】教授　市川浩
【商学部】教授　田中茂和
【社会学部】助教授　架場久和
【工学部】教授　大東延久、藤井拓蔵、横田勝弘▽助教授　門側幸宏、樋口誠宏▽専任講師　隈元昭、白岩正▽助手　北尾匡史
3月31日付

▼退職
—停年—
▽文学部教授　加藤美雄、東専一郎、福光永司、山口一郎▽工学部教授　高橋陸男、堀内三郎▽同助教授　嶋仲美友▽第一高等学校・第一中学校教諭　佐藤滋夫
—依願退職—
▽社会学部助教授　小原仁
—事務職員—　4月1日付

▼異動
総務局付次長、関西大学教育後援会出向　森本靖一郎▽財務局次長兼ねて施設課長事務取扱　小笠公士▽総務局人事課長　北村博▽大学事務局付課長　工藤五郎▽大学事務局学務課長　岩村護▽学生部厚生課長　杉田晏崇▽図書館天六分館事務長　斎藤正路▽東西学術研究所事務長　武藤葉吉
3月31日付
▽停年▽施設課　森本甫▽厚生課　押谷寅勇▽総務課　川崎貞子▽経済学部事務室　村野ヨシ▽依願退職▽東西学術研究所事務室　萬里小路通宗▽学生課　樋野恒子▽工学部事務室　松田敦子
▽嘱託
医師、保健管理センター所長兼ねて第一診療所長　飯田紀彦

大阪府人事

3月31日付

◇退職
寺本七良（交通局長）28法▽樋口正一（大阪市工業連合会専務理事兼事務局長）26専経

◇異動
4月1日付
◇局長級▽民生局次長兼総務部長　荒木四郎27経▽環境事業局次長兼業務部長　山田忠弘28法
◇部長級▽同和対策部次長　駒田喜信36法▽市立十三市民病院管理部長　望月棣30経▽消防局予防部長　恒遠滋30経▽任消防正監、消防局消防学校長兼警防部機械課長　岡積勝雄31文▽西消防署長　十河將博31商▽市長室副理事　高人大阪都市協会出向予定　高島英夫37経▽経済局副理事、大阪市工業会連合会出向予定　谷口勝彦34法▽公園局副理事、国際花と緑の博覧会協会出向予定　草野蘭33法

大阪市人事

3月31日付

◇退職
寺本七良（交通局長）28法▽樋口正一（大阪市工業連合会専務理事兼事務局長）26専経

◇異動
4月1日付
◇局長級▽民生局次長兼総務部長　荒木四郎27経▽環境事業局次長兼業務部長　山田忠弘28法
◇部長級▽同和対策部次長　駒田喜信36法▽市立十三市民病院管理部長　望月棣30経▽消防局予防部長　恒遠滋30経▽任消防正監、消防局消防学校長兼警防部機械課長　岡積勝雄31文▽西消防署長　十河將博31商▽市長室副理事　高人大阪都市協会出向予定　高島英夫37経▽経済局副理事、大阪市工業会連合会出向予定　谷口勝彦34法▽公園局副理事、国際花と緑の博覧会協会出向予定　草野蘭33法

全日本コンテストで金賞

応援団吹奏楽部　クラリネット

関西大学応援団吹奏楽部のクラリネットパートは、三月二十一日、函館市民会館で行われた全日本アンサンブルコンテスト　大学の部で優勝、金賞を獲得した。同吹奏楽部は、五十九年秋の全日本吹奏楽コンクール　大学の部でも金賞をとっている。

今回の受賞はクラリネット八重奏（リーダー清水勉君以下八人、うち女性三人）で大阪、関西の各大会を経て、十団体出場の全国大会に関西代表として参加した。演奏曲は「カプリチオ」（ゴードン作曲）で、関大としては同大会での初の輝かしい優勝だった。

＊ウーロン茶の最高級品！中国直輸入
特に肥満体質の方に最適
●無農薬・カルシウム465mg/100gが多く、カフェインは微量(0.007)！冷やして飲んでも最高です。
減量
アルカリ飲料　美容健康茶
ウエイトコントロール　味はさわやかマイルド
●ティーバッグ20袋入　¥500円
●ティーバッグ50袋入　¥1,000円
●特選お徳用192g入　¥1,800円
●特選ティーバッグ50g入　¥3,000円
楊貴妃
中国直輸入　楊貴妃
●誠求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパー・酒販店でどうぞ
お問い合わせ……サンプル差し上げます。
中国直輸入総発売元　株式会社タムラ　試供品請求券
大阪市北区芝田2-6-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101代

春のおおさか文化セミナー

おおさか文化セミナー「浪花好学一夕話」＝関西大学、大阪府立文化情報センター共催＝が次のように開講される。

◇日時　五月十三～七月八日午後六時半～同八時半

◇会場　大阪府立文化情報センター（住友中之島ビル五階）

◇申込方法　往復はがきで（住所、氏名、年齢、電話番号記入）〒530大阪市北区中之島三丁目、大阪府立文化情報センターへ。

◇申込期日　四月十七日から。定員になり次第締切（先着順）

▽五月十三日　森　銑三翁のこと　法学部助教授山野博史▽同二十日　狂言・狂言師・大阪　文学部助教授　関屋俊彦▽六月十日　古代社会史のこころみ　同教授　上井久義▽同十七日　大阪土と聚楽土—建築美の演出者　工学部教授　山田幸一▽同二十四日　翻訳家としての堀口大学　文学部助教授　平田渡▽七月一日　堺の茶の湯—天文茶会記をよむ　同教授　泉澄一▽同八日　在日韓国・朝鮮人の作家たち　同吉田永宏

円高諸問題〝を聞く

山本教授から　経済人クラブ94回例会

関西大学経済人クラブ（西村治三郎会長）の第九十四回例会が、三月二十八日午後五時半からホテル・プラザで開かれ、大西学長、樫本校友会長の来賓を含め二十八人が出席、山本繁緯経済学部教授の「円高の及ぼす諸問題」と題する講演を聴いた。

同教授は貿易摩擦に対する対応は、貿易でするのがオーソドックスな方法である。為替政策、為替介入政策は邪道とはいわないが、必ずしもこれればかりに頼るべきでない。日本はもっと市場を開放する必要がある。まだ農水関係は閉鎖的である、と結んだ。

終わって恒例の懇親パーティーが行われた。

50周年記念誌を発刊

千里山法律学会

関西大学千里山法律学会は昭和八年十一月三十日に創立され、同五十八年十一月三十日で五十周年を迎えた。同年十一月十九日に大阪ターミナルホテルで学長、法学部長、理事長、校友会長、教育後援会長はじめ多数の来賓を迎え、五十周年記念行事を挙行した。

その際、創立五十周年記念誌を発行することを約束したが、昨年十一月四日に第一回を兵庫県家島諸島での法生活の実態調査を初めとして、第十五回長崎県下県郡等における実態調査の報告を集約したものであり、歴史的記録として意義のあるものであると同時に、千法会出身者の若き時代の情熱を注いだ研究の成果でもある。報告書とあわせてその後のそれぞれの「思い出」を読むとき、過去五十年の大学生活が、そこに、まざまざと見ることが出来る。（関西大学睦法会幹事長　村林隆一）

吹田市文化会館でコンサートを開催

応援団吹奏楽部とパト

関西大学応援団吹奏楽部は、三月二十七日午後六時半から吹田市文化会館・メイシアター大ホールで盛大に催された。

曲目は一部、ビギン・ビギン・ザ・バトントワーリング部のスプリングコンサートが、三月二十七日午後六時半から吹田市文化会館・メイシアター大ホールで盛大に催された。

曲目は一部、ビギン・ビギン、二部、アンバリ・ロカ第三部、ステージ・マーチングショーなどだった。

喫茶　ペカ
地下鉄東梅田・日興証券ビルB1　電313—6774

訂正

前号「関大女子学生の40年」座談会の記事中、横田健一教授の発言「猪谷先生の子供三人のうち二人が関大にはいった」とあるのは「今津晃先生」（京大名誉教授、アメリカ史）の誤りでした。猪谷文臣先生は大阪大学名誉教授（フランス史）で二人は関大非常勤講師でした。お詫びし、訂正します。

訃

辻見正美氏（辻見重行関西大学総務局長の父）三月三十日午後十時半、老衰のため死去、九十四歳。

吉田光治氏（吉田修之氏＝18大経＝の父、大和農園創業者）四月十一日午前零時半、死去、八十八歳。

青野昌平氏（3大予、6大法）四月十一日午後四時、老衰のため死去、八十歳。

菅納達雄氏（7専商）二月二十二日、死去、七十四歳。

島田大八氏（12大法）二月二十三日死去、九十歳。

坪内士行氏（元専門部文学科講師、英文学者、演劇・舞踊評論家）三月十九日午前三時十分、急性心不全のため死去、九十八歳。

瀬川　桂氏（4大法）三月六日、脳こうそくのため死去、八十二歳。

松本源造氏（臨16大政）四月三日、死去、六十六歳。

森島忠三氏（校友会代議員、弁護士、15二商、17専法）、21大法）四月五日午前一時、心筋こうそくのため死去、六十五歳。

古山寿夫氏（26学1法、泉北鉄道サービス㈱社長）四月十日午前一時四十九分心筋こうそくのため死去、五十八歳。

中村邦治氏（中村正躬工学部教授の父）三月二十七日午後一時。老衰のため死去、九十五歳。

商標登録　和洋御菓子司
株式会社　昌月堂
〒556 大阪市浪速区難波中3丁目13—28
（難波府立体育会館南通り公園前）
電話 631—6565
641—1666 6(代)
641—6565
山本雅巳
（昭和53年大法卒）
特別割引券

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社

高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本社　550大阪市西区北堀江一丁目一一八　電話大阪(五三八)代表三八二一～六番
支店営業所　東京・名古屋・福岡
工場　静岡・川西・神戸

制禦盤配電盤製作・計装工事
共栄電器工業株式会社
取締役社長　柳楽喜祐
本社　〒660尼崎市杭瀬北町1丁目3番地　電話大阪(481)8807～0番(代表)・(489)3041番
東京営業所及工場　〒177東京都練馬区高野台2丁目6番16号　電話東京(904)1521番

プランニングから印刷までをトータルでプロモートする
東洋紙業株式会社
取締役社長　朝日多光
大阪本社：大阪市浪速区芦原1—3　☎(06)567—2111(大代表)　〒556
東京本社：東京都品川区南品川6—1　☎(03)450—2111(大代表)　〒140
工場：関西/芦原　平野　美原　東大阪　関東/品川　横浜　王子
営業所・関連工場：札幌　名古屋　徳島　広島　九州
営業品目：企画・デザイン　一般印刷　出版印刷　ビジネスフォーム　紙器　特殊印刷

非鉄金属販売
保井金属株式会社
取締役社長　保井剛一
本社　大阪市南区松屋町六—三　電話○六(762)五四二一(代)
東京出張所　東京都千代田区内神田一丁目八ノ一二（東京保井ビル）　電話○三(293)七二〇二(294)六七七六